

(仮称)田名のあすを拓く会 情報の発信に関するワーキング 議事概要

日時：平成18年3月16日(木) 午後7時～午後8時30分
会場：田名公民館 小会議室

1 犯罪発生情報の共有化と対応(メール発信システム運用開始時における地域の対応)

- ・学校グループに保護者以外の人を入れることはできないのか。
学校長の裁量で、学校グループに自治会長など地域の地縁組織の役員等を特別に登録できるように検討して欲しい。
- ・将来的に地域でグループ配信ができるようになった場合、誰がグループ管理者になるかが問題だ。
- ・一般利用者の登録を推奨する活動をしてはどうか。
防犯協会が形骸化しているので、防犯協会で検討してみる。
田名のあすを拓く委員会に4つ目の分科会として広報分科会を立ち上げるので、広報分科会の最初の仕事としてはどうか。
自治会の役員だけでも最低限登録してもらおうようにしたい。
3月27日の自治会長会議、4月15日の新旧自治会長会議(総会)などで新旧の自治会役員への登録を呼びかけたい。

2 地図作成機能を活用した地域防犯マップの作成

- ・各学校で地域情報マップを作成している。このマップをどのようにシステムにつなげていくのか。
システムに反映することも大切であるが、マップを作成する段階に意味があると思う。
マップの関係は学校と調整しながら進めていく必要があるだろう。地域独自グループのシステムの運用は当面先のようなので、今後の課題としたい。

3 会の名称について

- ・田名のあすを拓く委員会名で田名地域内に看板を設置した。地域を考える場である「田名のあすを拓く会」と混同しがちなので、次回の企画会議で新たな名称の提案をしたい。

3月28日の企画会議への提案

- ・さがみはら安全・安心情報システムの概要をもう一度説明する
- ・一般利用者への登録呼びかけを防犯協会や田名のあすを拓く委員会の広報分科会が中心となって実施する。また、団体に所属している(仮称)田名のあすを拓く会の参加メンバーは、自分が所属している団体の構成員に登録の呼びかけを行っていく活動の提案をする。